

第 30 回倉吉文化団体協議会連合展 事業報告書

事業名	第 30 回倉吉文化団体協議会連合展																																								
事業実施期間	平成 30 年 8 月 29 日 (水) ～平成 30 年 9 月 2 日 (火) [5 日間]																																								
事業実施場所	倉吉博物館 展示室第 1 ～ 3																																								
実施主体名	第 30 回倉吉文化団体協議会連合展 実行委員会																																								
事業概要	<p>地元で活躍する文化芸術団体・個人により、写真・書道・染織・日本画・版画・洋画・デザインと、幅広いジャンルにわたる芸術作品を一堂に展示した。そして、恒例となった招待作家作品展示には「中川端月」氏(日本画)の作品が展示され、オープニングセレモニーの後に、展示会場にて中川氏によるギャラリートークが行われた。</p> <p>・日程について 会期：平成 30 年 8 月 29 日 (日) ～ 9 月 2 日 (日) [5 日間] 平成 30 年 8 月 28 日 12:30～13:00 作品受付、13:00～17:00 搬入・展示 平成 30 年 8 月 29 日 10:00～オープニングセレモニーおよびギャラリートーク 平成 30 年 9 月 2 日 16:00～17:30 撤去・搬出</p> <p>・出品者・出品作品数について <u>写真 40 名 50 点、 書道 3 名 4 点、 染織 2 名 5 点、 デザイン 7 名 9 点</u> <u>日本画 13 名 13 点、 版画 15 名 16 点、 洋画 12 名 13 点、 招待作家 1 名 9 点</u> <u>合計 93 名 119 点</u> (昨年 87 名 120 点) 具体的な出品者名は以下の通り。 【招待作家】 中川端月 (日本画家)</p> <p>【写真】</p> <table> <tr> <td>朝倉雅仁</td> <td>新 勝人</td> <td>磯江一美</td> <td>井上英明</td> <td>上田福美雄</td> </tr> <tr> <td>大西忠文</td> <td>尾川伸弘</td> <td>門脇正八</td> <td>河原條秀紀</td> <td>河原條マキ</td> </tr> <tr> <td>小林伸一郎</td> <td>小矢野貢</td> <td>里田晴穂</td> <td>塩谷博昭</td> <td>清水節子</td> </tr> <tr> <td>庄司美恵子</td> <td>住友堅一</td> <td>竹内 毅</td> <td>竹歳雅秀</td> <td>田子一夫</td> </tr> <tr> <td>田中昭男</td> <td>津村睦男</td> <td>西村貢明</td> <td>根鈴裕之</td> <td>秦野のぼる</td> </tr> <tr> <td>福島多暉夫</td> <td>松井 収</td> <td>松原幹夫</td> <td>森 敬一</td> <td>森脇登美子</td> </tr> <tr> <td>山田直人</td> <td>山根和夫</td> <td>山根喬市</td> <td>山本浩一</td> <td>山本 浩</td> </tr> <tr> <td>山本俊朗</td> <td>山脇賢治</td> <td>米田健一郎</td> <td>渡辺 誠</td> <td>林原 滋</td> </tr> </table> <p>【書道】 柴山抱海 高橋俊和 寺崎美幸</p> <p>【染織】 福田宏枝 山口敬子</p>	朝倉雅仁	新 勝人	磯江一美	井上英明	上田福美雄	大西忠文	尾川伸弘	門脇正八	河原條秀紀	河原條マキ	小林伸一郎	小矢野貢	里田晴穂	塩谷博昭	清水節子	庄司美恵子	住友堅一	竹内 毅	竹歳雅秀	田子一夫	田中昭男	津村睦男	西村貢明	根鈴裕之	秦野のぼる	福島多暉夫	松井 収	松原幹夫	森 敬一	森脇登美子	山田直人	山根和夫	山根喬市	山本浩一	山本 浩	山本俊朗	山脇賢治	米田健一郎	渡辺 誠	林原 滋
朝倉雅仁	新 勝人	磯江一美	井上英明	上田福美雄																																					
大西忠文	尾川伸弘	門脇正八	河原條秀紀	河原條マキ																																					
小林伸一郎	小矢野貢	里田晴穂	塩谷博昭	清水節子																																					
庄司美恵子	住友堅一	竹内 毅	竹歳雅秀	田子一夫																																					
田中昭男	津村睦男	西村貢明	根鈴裕之	秦野のぼる																																					
福島多暉夫	松井 収	松原幹夫	森 敬一	森脇登美子																																					
山田直人	山根和夫	山根喬市	山本浩一	山本 浩																																					
山本俊朗	山脇賢治	米田健一郎	渡辺 誠	林原 滋																																					

【日本画】	柿本 實 熊谷和子 宮本京花	川口美佐子 林原紀元 熊谷和子	河原條秀子 藤田睦子 横浜美恵子 徳田三凌	栗原誠子 松本恵春	徳田三凌 宮城千代美 中川端月
【版画】	綾女知廣 三嶋紗織 中原玉美	石賀恵子 近藤正徳 藤本 覚	石脇正江 田中達郎 毛利和子	岡崎一成 田中廣子 山崎勝美	小田加代子 トバタカユキ 山本和男
【洋画】	飯田啓子 田中廣子 山根大和	井之上玉代 南場兄一 山涌敏秋	小西勝之 福田春枝	瀧本京子 松岡悦子	竹内節男 森田美幸
【デザイン】	岡本利之 山口 龍	高橋公之 山松保夫	谷口雅俊	福山恵子	柘田晃徳

・入場者数について

8月29日(水) 午前：62名、	午後：32名、	合計：94名	(昨年一日 225名)
8月30日(木) 午前：52名、	午後：22名、	合計：74名	(昨年一日 66名)
8月31日(金) 午前：39名、	午後：23名、	合計：62名	(昨年一日 41名)
9月1日(土) 午前：51名、	午後：79名、	合計：192名	(昨年一日 81名)
9月2日(日) 午前：53名、	午後：81名、	合計：134名	(昨年一日 75名)
			(昨年最終日 161名)

5日間総合計 556名 (昨年6日間 649名)

1日平均約 108人 (昨年1日平均 111人)

入場者総数での集客結果は、昨年度に比べ93人の減少であった。日数が一日短かったうえ平日水曜の式典と悪天候が重なった。しかし広報での呼びかけや個人向けのハガキ送付、新聞文化欄や連日のケーブルテレビを使った予めの掲示の効果があつた。

その他

・実行委員会について

本事業を開催するにあたり、下記の日程にて12回の実行委員会を開催した。

- 第1回実行委員会 平成30年 1月23日
- 第2回実行委員会 平成30年 2月27日
- 第3回実行委員会 平成30年 3月27日
- 第4回実行委員会 平成30年 4月24日
- 第5回実行委員会 平成30年 5月31日
- 第6回実行委員会 平成30年 6月28日
- 第7回実行委員会 平成30年 7月26日
- 第8回実行委員会 平成30年 8月21日
- 第9回実行委員会 平成29年 9月25日報告会

・来場者へのアンケート結果

総入場者数556名、回答者数150名（回答者率27%）

[性別] 女性95名（63%）、男性55名（36%）

[年代] 20代未満1人（1%）20代0人（0%）30代5人（3%）40代13人（8%）
50代17人（11%）60代39人（26%）70代70人（26%）80代以上22人（14%）

[住まい] 県東部13人（8%）、県西部5人（2%）中部127人（84%）県外15人（10%）

[満足度]とても満足59人（39%）、満足89人（59%）不満2人（1%）、とても不満（0%）

[次回鑑賞希望]ぜひしたい78人（52%）、したい69人（46%）、

したくない0人（0%）、わからない3人（2%）

[知った理由] 家族友人知人から85人（57%）新聞65人（43%）

ポスター48人（32%）場所：市内、市内公民館、スーパー 大型施設

市報やチラシ19人（12%）ホームページ13人（8%）その他

（Facebook・文化活動センターから・日本海新聞・情報誌・ケーブルテレビ他）（15%）

[鑑賞理由] 複数あり 興味があった121人（80%）、関係者がいた89人（59%）、
通りかかった6人（4%）、薦められた9人（6%）、その他3人（1%）

[意見・提案など]

○書道や染織の出品数がいささか少なく感じられた。出品者を増やす事ができれば

なおよい展覧会になると思います→4人

○初めて見たが力作ぞろい。芸術性の高い作品が多い→3人

○出品者名（キャプション）が小さくて見えない→2人

○毎年の鑑賞を楽しみにしています。

○静かに鑑賞できました。倉吉には芸術性の高い作品が多い→6人

○勢力的な作品ばかりでした・・良い作品ばかり題材が倉吉地区に合っている。

倉吉市の文化活動が活発な様子が見受けられ満足した。

○もっと作品の数があればと希望します。みなさまの力作を見て感動した。

○いろいろな人の様々な分野の作品が一堂に見れるので今後も期待します。

○写真に撮った場所・地名があるとよい。

○初めてオープニングセレモニーに参加ギャラリートークに参加して良かった→2人

○ぜひやめないで。毎年楽しみにしています。心癒された→3名

○作者のコメントがあればもう少し楽しめたのではないかと→2人

○中川氏の迫力ある作品は目を見張るばかりでした。

○切り絵押花も展示してください。→デザイン部門として応募があれば

○写真はプロ級洋画デザイン日本画を除くと、一般応募が少なすぎる。(中部80代)

○休憩中の椅子での談話がうるさい。耳についた。(60代女性)

○会期が短すぎだ。せめて一週間希望。(過去出品者より)→3名

○連合展の名前が硬いので、もっと親しみやすい名前にできないか(70代女性)

[課題]

①キャプションが小さいとの意見…来年度も作者名の文字を大きくする。

②引き続き芸術性のある作品を一般からも公募していく。

③搬入の時の日通の方を2人から4人に増やしたい。時間がかかりかかったから。